
「^{ぼうこうぜんてきじょじゆつご}膀胱全摘除術後の^{きゅうせいじんしょうがい}急性腎障害が長期予後に及ぼす影響に関する後ろ向き観察研究」

についてのご説明

- はじめに

^{ぼうこうぜんてきじょじゆつご}膀胱全摘除術は膀胱がんに対する標準的な治療の一つですが、手術の直後に一時的に^{じんぞう}腎臓のはたらきが悪くなる「^{きゅうせいじんしょうがい}急性腎障害」が起こることが分かっています。ほとんどの場合は時間が経つと問題のない状態に戻りますが、この「急性腎障害」が、その後の経過に影響することが報告されています。

- 研究対象

札幌医科大学附属病院において、2006年1月1日から2012年12月31日の間に、膀胱がんの治療として膀胱全摘除術を受けられた方145名を対象にしています。

- 研究内容

対象となる患者さんのこれまでの診療記録（カルテ）から、手術後の経過についての情報を調べます。なお、この研究をおこなうことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。

- 患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報の^{ろうえい}漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化など厳格な対策を取っています。本研究の実施過程およびその結果の公表（学会や論文など）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

- 患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

2006年1月1日から2012年12月31日の間に、本院で膀胱がんの治療として膀胱全摘除術を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記まで御連絡下さい。ただし、御連絡をいただいた時点ですでに研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結

果からあなたに関するデータを取り除くことはできず、研究参加を取りやめることができなくなります。

- 研究期間

2019年10月10日から2020年12月31日まで

- 利用する情報

カルテ情報：最終診察日、健康状態

- 研究責任者

札幌医科大学附属病院 泌尿器科 講師 田中 俊明

- 医学上の貢献

研究成果は膀胱がんの治療と急性腎障害の関係が明らかとなり、膀胱がんの治療後の管理において重要な情報となります。

- 問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 泌尿器科

研究責任者 田中 俊明

【平日】

泌尿器科教室

電話:011-611-2111 内線 34720 (平日:8時45分~17時00分)

【休日・時間外】

西8階病棟

電話:011-611-6111 内線 39260 (休日・時間外(17時00分~8時45分))